



2025.12

漢方医学センター
センター長・教授
及川 哲郎

風邪の漢方治療 2

前回のコラムで、風邪の漢方治療は患者さんの「病期」に応じて行うというお話をしました。「病期」については風邪の初期である太陽病期を過ぎても治りきらない場合、咳や痰、食欲不振などが見られるようになります。この少し長引きこじれた時期を少陽病期と言います。

この時期は、抗炎症作用の強い柴胡剤などの漢方薬を用いることになります。それでも治らない場合、高熱の続く陽明病期に移行することもあります。また罹病期間がより長期となれば胃腸の機能が低下、腹痛や下痢などが出現する太陰病期、それがさらに進むと体が冷えて活動が低下する少陰病期、厥陰病期といった重篤な状態に至ることもあります。

葛根湯の説明でお示したように、漢方薬にはそれぞれ個性があり、多くの場合よく効く「病期」や相性の良い症状といったものがあります。今回は風邪に用いられる具体的な漢方薬を少しご紹介します。

- ・ 葛根湯・・・太陽病期 体力のある人向け 相性の良い症状…悪寒、発熱、頭痛、肩こり
- ・ 麻黄湯・・・太陽病期 体力のある人向け 相性の良い症状…強い悪寒、発熱、関節痛 インフルエンザによく用いられる
- ・ 小青竜湯・・・太陽病期 体力普通の人向け 相性の良い症状…水様鼻汁、くしゃみ 花粉症に使われることの多い漢方薬
- ・ 桂枝湯・・・太陽病期 体力のない人向け 相性の良い症状…葛根湯に似るが自然発汗傾向あり
- ・ 小柴胡湯・・・少陽病期 体力普通の人向け 相性の良い症状…咳嗽、食欲不振、頸部リンパ節腫脹 こじれた時期には柴朴湯もよく用いる
- ・ 柴胡桂枝湯・・・少陽病期 体力普通の人向け 長引いたかぜに使いやすい漢方薬
- ・ 補中益気湯・・・少陽病期 体力のない人向け 相性の良い症状…病中病後の体力低下、全身倦怠感、寝汗
- ・ 清肺湯・・・少陽病期 体力普通の人向け 相性の良い症状…化膿性の喀痰鼻汁 西洋医薬の去痰剤の感覚で使える
- ・ 麦門冬湯・・・少陽病期 体力普通の人向け 相性の良い症状…長引く空咳
- ・ 麻黄附子細辛湯・・・少陰病期 体力のない人向け 相性の良い症状…寒気、咽頭痛 高齢者の風邪に使うことの多い漢方薬
- ・ 香蘇散・・・病期に関係なく使える 高齢者・虚弱者の万年風邪に
- ・ 桔梗湯・・・病期に関係なく使える 咽頭・扁桃炎の疼痛緩和に トローチもあり

いかがでしょう。代表的なものだけでも十数種類ありますね。実際には頻用するものだけでこの倍以上あります。風邪の漢方薬と言っても一人一人の患者さんに合わせた治療が行われることがお分かりかと思います。